

福岡県民と医師をつなぎ、あしたの健康へつなぐ

# えがおから

医療ブック

EGAO  
KARA  
medical book

vol.20  
2021  
SPRING



＼今からでも知っておきたい／  
新型コロナウイルス感染症



福岡県医師会



# 今からでも知つておきたい

## 新型コロナウイルス感染症

私たちの生活に影響を及ぼし続いている新型コロナウイルス感染症。行動が制限され、感染への不安を感じる日々が続きますが、効果的な予防や対策のためには、改めて新型コロナウイルスについての理解を深めておくことが大切です。

ISHIKAI  
interview

### 上野道雄

まずは福岡県の対策について、  
新型コロナウイルス感染症調整本部・本部長の  
上野道雄さんにお話をうかがいました。



新型コロナウイルス感染症調整本部 本部長

福岡県医師会 参与

うえ

の

みち

お

「福岡県新型コロナウイルス感染症調整本部」では、主に新型コロナウイルス感染症対応にまつわる調査や企画立案、患者の治療優先度を決定して医療機関等へ案内する「トリアージ」などを担当しています。上野さんは本部長として、診療現場の目線と県民の想い、両方の側面を意識しながら、取り組みを進めているそうです。

新型コロナウイルス感染症に対する、福岡県独自の動きや特徴はありますか？

福岡県は特に、医療機関が一丸となつた協力体制が取れてきたと思います。対策を考える上で大事なのは、専門家の意見だけではなく、現場となる医療機関の意識の共有です。そこでまず病院の院長に集まっていた問題点を洗い出しながら、知識

や経験を共有しました。それにより「みんなで頑張ろう」という意識が生まれていったのではないでしょうが。

どこか定められた病院だけがコロナ対応に奔走するのではなく、基幹病院をはじめ多くの民間病院が協力して陽性患者を受け入れたり、一般の救急患者さんの受け入れを積極的に行なうなど、地域で役割を分担しながら対応することができました。それもあって、病床の拡張も極めて順調だった気がします。

また、県と医師会との連携が取れていることも功を奏しています。それにより、PCR検査センターの設置対応も迅速で、行政検査以外にも、県内14か所で新型コロナウイルス感染症に係る検査を実施できる体制が整いました。国の基準より範囲を拡大し、濃厚接触者であれば無症状でも検査を行っていますし、他県と比べて、PCRの測定件数が多く、陽性率がやや低めな特徴がありますか？

福岡県では、自宅療養ではなく宿泊療養を強く呼びかけているのはなぜですか？

家庭内で感染が広がる懼があるのはもちろん、たとえ無症状であっても突然呼吸不全を起こすなどのリスクがあるからです。全国では、自宅療養中に亡くなられた方もいますよね。

福岡県では、ホテルを準医療施設として捉え、J-MAT（日本医師会災害医療チーム）医師を常駐させ、酸素飽和度計を家庭に備えています。病院との密接な連携もあるので、何かあれば迅速に対応することが可能なんです。

現在、ホテル病室と病院病床を合わせて約2000床が確保できていますが、軽症と無症状患者を収容するホテルではの有事において、医師や看護師は精神的な疲れも見えています。この地域の財産です。優しい言葉や励ましをもらえば元気が出ると思うので、県民のみなさまにご配慮いただけたらありがたいです。



※この記事は2021年3月時点での情報をまとめたものです。

猛暑でも  
マスクはすべき?



高温多湿な環境下でマスクを着けているが、熱中症のリスクが高くなるおそれがあるので、屋外で周囲との十分な距離(2m以上)が確保できる場合には、マスクをはずすようにしましょう。着用する際にはこまめに水分補給を心がけることも大切です。  
また、小さな子ども(2歳未満の乳幼児)は呼吸する力がまだ弱く、辛くても自分で意思表示ができないので、マスクは不要です。周りの大人がしっかりと対策をすることが大事です。

職場の同僚が陽性となつた時はどうしたらよい?



職場の同僚が感染したとしても、「自身が濃厚接触者ではなかった場合は、発症する可能性は低いでしょう。濃厚接触かどうかを判断する上で重要なのは、「距離の近さ」と「時間の長さ」です。たとえば、手で触れるなどの出来る距離(目安として1メートル)で、マスクなどの必要な感染予防策なしに一定時間以上会話するなどの接触があった場合などは、濃厚接触者と考えられます。実際には、保健所が患者、または家族や会社などから聞き取り調査をし、状況に応じて総合的に判断します。身近な人が陽性になつたら、濃厚接触者でなくとも感染を完全に否定することはできませんので、その人と接触した日から14日間は、しっかりと健康観察を行いましょう。

◎もっと新型コロナウイルスに関する情報を知りたい方は



厚生労働省  
新型コロナウイルスに  
関するQ&A(一般の方向け)



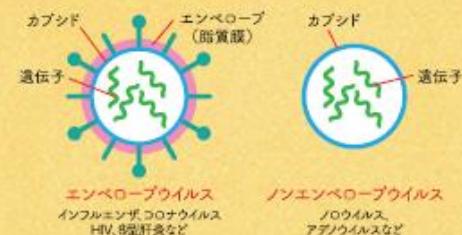
福岡県医師会  
新型コロナウイルスに  
関する情報

どのようにして  
治療するの?

インフルエンザのような特效薬はありません。軽症の場合は自然に症状が軽くなることが多い、必要な場合に解熱薬などを使用します。呼吸不全を伴う場合には、酸素投与やステロイド薬(炎症を抑える薬)・抗ウイルス薬を投与し、改善しない場合には人工呼吸器等による集中治療を行うことがあります。こうした治療法の確立もあり、新型コロナウイルス感染症で入院した方が死亡する割合は低くなっています。

「新型コロナウイルス感染症」とは?  
どのようなウイルス?

人に感染するコロナウイルスのひとつとして新たに見つかった、「新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)による感染症です。人に感染する「コロナウイルス」には、一般的の風邪の原因となるウイルスのか、「重症急性呼吸器症候群(SARS)」や、2012年以降発生している「中東呼吸器症候群(MERS)」ウイルスなどがあります。ウイルスには大きく分けて、表面を脂質性の膜で包んでいる「エンベロープウイルス」と、包んでいない「ノンエンベロープウイルス」という種類があり、コロナウイルスやインフルエンザウイルスは前者の「エンベロープウイルス」です。この膜は、石鹼を使った手洗いやアルコール消毒剤によって壊れやすく、膜が壊れた状態ではウイルスの感染力が失われます。だからこそ、手洗いや消毒が効果的と言われています。



どのようにして感染するの?

新型コロナウイルス感染症は、飛沫感染と接触感染によりうつります。  
● 飛沫感染／感染した人の飛沫(くしゃみ、咳、つばなど)と一緒に放出されたウイルスを、ほかの人があくびや鼻などから吸い込んで感染することにより粘膜から感染すること  
● 接触感染／ウイルスやウイルスが付着したモノなどを触った手で、口や鼻、目などを触ることにより粘膜から感染すること  
また、閉鎖した密閉空間で、近距离で多くの人と会話するなどの密集・密接した環境では、咳やくしゃみなどの症状がなくても感染を拡大させるリスクがあります。

重症化しやすいのは  
どんな人?



重症化しやすいのは、高齢者と基礎疾患のある方です。重症化のリスクとなる基礎疾患には、肥満、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、慢性腎臓病、糖尿病、高血圧、心血管疾患などがあります。また、重症化しやすいかは明らかでないものの、妊娠や喫煙歴のある人なども注意が必要とされています。

ペットから人に  
感染する可能性は?

これまでのところ、感染した人からペットに感染する事例が海外で数件確認されていますが、ペットから人に感染した事例は見つかっていません。ペットを触った際は石鹼や水で手を洗ったり、過度な接触を避けるなどの一般的な衛生管理を実施しましょう。



新型コロナウイルス感染症は、飛沫感染と接触感染によりうつります。



## さらに深堀!Q&A

感染後の退院や宿泊療養の解除基準はありますか？

入院の方も宿泊療養の方も  
解除の基準は同じです。

新型コロナウイルス  
感染症を診断するための  
検査の違いはなんですか？

①発症日から10日

- ② 症状軽快後24時間経過した後、24時間以上間隔をあけ、2回のPCR検査で陰性を確認できた場合

呼吸器症状が改善傾向にある(1)

無症状だった方

陽性が確定となつた検体採

ただし、10日以上感染性を維持している可能性がある場合（例／重度免疫不全患者）は、地域の感染症科医との相談となります。また、退院後に再度陽性となつた事例があるので、解除後4週間は自分で健康観察を行い、症状が出た場合には、速やかに相談センターへ連絡して指示に従いましょう。

### ①陽性が確定となつ

- ②陰性が確定となった検体採取日から6日間経過後、24時間以上間隔をあけ、2回のPCR検査で陰性を確認できた場合

**PCR検査**

抗原検査

検査の対象者	PCR検査(LAMP法含む)			抗原検査(定量)			抗原検査(定性)		
	鼻咽頭	鼻腔	唾液	鼻咽頭	鼻腔	唾液	鼻咽頭	鼻腔	唾液
有症状者	発症から9日目以内	○	○	○	○	○	○	○	×
	発症から10日目以降	○	○	×	○	○	×	△	×
無症状者	○	×	○	○	×	○	×	×	×

\*1 発症日目から9日目以内に使用 \*2 隆陰の場合は必要に応じてPCR検査等を実施 \*3 認定診断としての使用は推奨されないが、結果が陰性の場合でも感染予防策を継続すること等要件の下で、感染拡大地域の医療機関や高齢者施設等において幅広く検査を実施する際にスクリーニングに使用することは可能

## 検体採取の例

抗原定性検査、鼻咽頭ぬぐい液と  
鼻腔ぬぐい液の場合



鼻から綿棒を2cm程度挿入し、  
5回転させ、5秒程度静置(自己採取も可)

※図はデンカ株式会社より提供



## ＼第8回 作文コンクール 作品募集／

### 心のふれあい大賞ーわたしのまわりの医療体験ー

医療従事者と患者さん、その家族との「信頼関係」という医療の原点にスポットをあて、病気になった時に感じたことや介護にまつわる経験、医療従事者とのふれあいなど、医療・介護に関する体験記を募集しています。ご自身の体験や周りの方のお話しなど心温まるエピソードを教えてください。

○応募資格 福岡県内の学校に在籍する児童、生徒、および一般県民 ※医師を除く

部門	● 一般の部	● 中高生の部	● 小学生の部
文字数	400字詰め原稿用紙 5枚(2000字)以内	400字詰め原稿用紙 5枚(2000字)以内	400字詰め原稿用紙 3枚(1200字)以内
表彰 (副賞)	最優秀賞 1名	最優秀賞 1名	最優秀賞 1名
	現金10万円	図書カード5万円分	図書カード3万円分
	優秀賞 若干名	優秀賞 若干名	優秀賞 若干名
	現金3万円	図書カード2万円分	図書カード1万円分
募集期間	令和3年7月1日(木)～9月30日(木)必着		

- 応募方法 ①鉛筆(B、2B)/ボールペン/万年筆/パソコンのうち、いずれかを用いて、透かはっきりと書く  
※パソコンの場合、1ページ400字(20字×20行)  
②表紙をつけて、部門、題名、氏名(ふりがな)、性別、年齢(生年月日)、〒住所、電話番号  
(FAXがあればFAX番号も)、職業(または学校名・学年)を明記  
③封筒の裏に「心のふれあい大賞」と記載の上、郵送

○作品送付先 [〒812-8551 福岡市博多区博多駅南2-9-30 \(TEL:092-431-4564\)](tel:092-8551)  
福岡県医師会総務課 作文コンクール係

#### 応募上の注意

- ①自作の未発表作品に限ります。二重投稿は厳しくお断りします。  
応募作品について盜作等による著作権侵害の争いが生じても、主催者は責任を負いません。  
②応募作品は返却いたしません。  
③入賞作品の著作権、出版権は主催者に帰属します。そのため、主催者、後援者が管理するウェブサイトや、雑誌、テレビ、ラジオ、書籍、教材などに利用されることがあります。なお、入賞者の氏名および作品は新聞紙面にて掲載予定です。

#### 【入賞発表】

令和3年11月下旬  
受賞者に通知、後日新聞紙上にて発表(予定)  
令和4年1月15日(土)  
表彰式を開催(県民のための公開講座と同時開催予定)

#### 【参加賞】

中高生の部および小学生の部に応募された方  
全員に蛍光ペンを進呈

## 第19回 医療モニター 募集

### 医療モニター制度『メディペチャ』でご意見発信を

県民の皆様と医師が医療についてペチャクチャお喋りする会です。

ブロック	第1回開催日	第1回会場	応募締切
福岡	令和3年8月28日	天神ビル(福岡市中央区)	令和3年7月20日
北九州	令和3年9月4日	北九州市立工商貿易会館(北九州市小倉北区)	令和3年7月27日
筑豊	令和3年9月18日	飯塚医師会館(飯塚市)	令和3年8月11日
筑後	令和3年9月25日	ハイネスホテル久留米(久留米市)	令和3年8月17日

※年3回、土曜日の15～17時を原則と致します。※日程、場所は変更となることがあります。

※選考結果は、発送をもってかえさせていただきます。

○応募資格:福岡県に居住する20歳以上の人(男女問わず・定員各地区10名)

○開催回数:令和3年8月1日～令和4年3月31日の間で各ブロック3回

○謝礼:15,000円(交通費含む)1回5,000円※交通費含む×3回

○応募方法:下記の必要事項を記載の上、以下の方法でお申し込みください。

- ①住所、氏名(フリガナ)、電話番号、生年月日、年齢、性別、職業
- ②希望するブロック
- ③メディペチャを知ったきっかけ(ポスター、○○新聞、えがおから医療ブック等)
- ④医師会や医療全般に対して感じていること(200字程度)

○ハガキ [〒812-8551 福岡市博多区博多駅南2-9-30 \(TEL:092-431-4564\)](tel:092-8551)

福岡県医師会総務課 医療モニター係

○FAX 092-411-6858 ○e-mail [medi-pecha@fukuoka.med.or.jp](mailto:medi-pecha@fukuoka.med.or.jp)

応募用紙は福岡県医師会ホームページからダウンロードできます。<https://www.fukuoka.med.or.jp/>

